KETCindy のインストール (Mac)

修正日: 2019 年 12 月 23 日

- 1. Cinderella, R, Maxima をインストールする.
 - https://beta.cinderella.de (Cinderella)
 - ・解凍してできる Cinderella2(.app) を /アプリケーションに**移動**する.
 - 注)ketcindy(-master)/forMac にある Applications にドラグドロップしてもよい.
 - https://cran.r-project.org (R)
 - ・ダブルクリックして、起動するかを確認する.
 - https://sourceforge.net/projects/maxima/files (Maxima)
 - ・v5.38.0 以前の方が v5.40.0 以降より軽い.
- 2. TeX をインストールしていない場合はインストールする.
 - (1) TeXLive を推奨
 - 2018以降では ketcindy が既に入っている。
 - (2) KeTTeX は TeXLive の軽量版
 - ・ kettex.dmg を以下からダウンロードできる.
 https://www.dropbox.com/s/dc4inuk06t07g26/kettex.dmg?dl=0
 - ・ダブルクリックしてできる kettex を/Applications に入れる.
 - (3) 他の TeX の場合は、3.(2) を参照する.
- 3. KeTCindy のインストール
 - (1) ketcindy を CTAN(https://ctan.org) からダウンロードする. ketcindy で検索 > Package ketcindy > download
 - 注) 最新版は、Repository のサイト

https://github.com/ket- pic/ketcindy から以下のようにダウンロードできる.

Clone or download > Download ZIP

- 注) この場合は、ketcindy-master になる.
- 注) フォルダ名が ketcindy-master 2 などになっていたら、スペースをとる.
- 注) すべて手動でインストールするときは、7に従って行う.
- (2) ketcindy(-master)/forMac を開く.
 - 注)他のTeXを使っている場合
 - ・ setketcindy.command をテキストエディタで開く.
 - パスを修正する。
- (3) setketcindy.command をダブルクリック
 - 注) 管理者権限が必要となる.
 - 注) 開かないときは Control+クリックでターミナルを選ぶ.
 - 注) ダブルクリックで「開くか」を表示させるには、ターミナルで以下を実行しておく. sudo spctl --master-disable
 - ・ scripts の中身が TeX にコピーされる
 - ・ ketcindy の style ファイルが TeX にコピーされ mktexlsr が実行される.
 - ・ Cinderella の Plugins に KetcindyPlugin.jar がコピーされる.
 - ・ Plugins に ketcindy.ini が作成される(新規または再作成の場合)

- タイプセットの方法(TeX の種類)
 通常は、platex (p) または uplatex(u) を選ぶ。
- (4) setwork.command をダブルクリック
 - 注) 開かないときは Control+クリックでターミナルを選ぶ.
 - ・ 作業ディレクトリ ketcindy がユーザホームに作成される.
 - ・ ketcindy フォルダに work フォルダの中身がコピーされる.
 - ・.ketcindy.conf(不可視ファイルだが編集可能)がユーザホームに作成される. 注)TeX を切り替えるときなどはこのファイルを修正する.
 - ・ マニュアルもコピーされる.
 - ・作業ディレクトリに ketincy.conf の雛形がコピーされる.
 - ・ KeTCindy を立ち上げたとき、設定ファイルは次の順に読み込まれる.
 - 1) ketoutset.txt
 - 2) ユーザホームの.ketcindy.conf
 - 3) 作業ディレクトリ ketcindy の ketcindy.conf

4. KeTCindy のテストラン

- (1) 作業ディレクトリ ketcindy を開く.
- (2) ketcindy の中の template1basic.cdy を選び,「情報を見る」を開く.
 - ・ アプリケーションが所定の Cinderella2 になっていることを確かめる.
 - ・「情報」を閉じて、template1basic.cdy をダブルクリックする.
 - ・ 画面に白い枠が出れば、ライブラリの読み込みは成功.
- (3) スクリーンの左上部にある Figure ボタンを押して、PDF が表示されれば成功.
 - 注) PDF の表示後、ターミナル画面を閉じるようにするには
 - ・アプリケーション / ユーティリティ / ターミナルを開く
 - ・トップメニューから

ターミナル>環境設定 > (プロファイル) > シェル 「シェルが正常に終了した場合閉じる」を選択

- 注) インストール用の ketcindy(-master) フォルダは削除した方が混乱しない.
- 5. TeXworks の設定 (kettex の場合)
 - ・ https://github.com/TeXworks/texworks/releases/ からダウンロードできる.
 - ・ TeXworks を立ち上げる
 - ・ TeXworks > 環境設定 > タイプセット
 - ・上の欄(パス)に以下を追加

/Applications/kettex/texlive/bin/x86_64-darwin 注) 上の行を上の欄の先頭になるように移動する.

- ・ 下の欄の横にある + をクリック
 - ・ 名前: uplatex(ptex2pdf) または platex(ptex2pdf)
 - ・プログラム: ptex2pdf
 - 引数:

-u (uplatex の場合のみ)

-1

-ot

\$synctexoption

\$fullname

OK ボタンを押し、デフォルトを変更して OK ボタンを押す.

- 6. gcc のインストール
 - ・ 曲面描画のためには、gcc が必要である.
 - ・Xcode がインストールされていなければ、インストールする.注) ターミナルで次を実行すれば、gcc だけがインストールされる.

sudo xcode-select --install

- 7. 手動でインストールする場合(KeTTeX)
 - 注)他の TeX の場合は,適宜パスを置き換える. /Applications/kettex/texlive => /Library/TeX/Root など
 - (1) ketcindy(-master)/ketcindyfolder を開いておく.
 - (2) scripts フォルダの中身を以下にコピーする./Applications/kettex/texlive/texmf-dist/scripts/ketcindy
 - (3) style フォルダの中身を以下にコピーする.
 /Applications/kettex/texlive/texmf-dist/tex/latex/ketcindy
 - (4) ターミナルで以下を実行する sudo /Applications/kettex/texlive/bin/x86_64-darwin/mktexlsr
 - (5) /Applications/Cinderella2(.app) をダブルクリック
 - (6) メニューから 「スクリプト」>「プラグインを開く」を選び、Plugins フォルダを開く.
 - (7) scripts/ketjava/KetCindyPlugin.jar を Plugins にコピーする.
 - (8) ketcindy(-master)/forMac/Forsettingmanually/ketcindy.ini を Plugins にコピーする. 注) 他の TeX の場合は、ketcindy.ini をテキストエディタで開いて修正する.
 - (9) Pugins を閉じ、Cinderella2 を終了する.
 - (10) work を適当な場所にコピーして、名前を変更する.注)標準は パス:ユーザーホーム(の直下) 名前:ketcindy
 - (11) 上の作業ディレクトリ (ketcindy) に doc/ketmanual のマニュアルをコピーする.
 - (12) forMac にある ketcindy.conf をテキストエディタで開き、適宜修正する.
 - (13) ターミナルで以下を実行する. cp (forMac のパス)/ketcindy.conf ~/.ketcindy.conf

8. その他

(1) ダウンロードしたアプリケーションの実行を有効にする方法 ターミナルで

sudo spctl -master-disable を実行(一度実行すればすべての場合に有効である)